

みずほCustomer Desk Report 2017/04/13 号(As of 2017/04/12)

【昨日の市況概要】

[昨日の市況概要]					公示仲値	109.58
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.57	1.0610	116.26	1.0071	1.2490	0.7501
SYD-NY High	109.86	1.0675	116.54	1.0089	1.2548	0.7529
SYD-NY Low	108.96	1.0589	115.91	1.0022	1.2480	0.7473
NY 5:00 PM	109.10	1.0665	116.22	1.0027	1.2543	0.7525
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.99/12.59	△25RR	2.595	Yen Call Over
NY DOW	20,591.86	▲ 59.44	債券市場	日本2年債	-0.2130	1.1bp
NASDAQ	5,836.16	▲ 30.61		日本10年債	0.0290	▲0.8bp
S&P	2,344.93	▲ 8.85		米国2年債	1.2015	▲3.2bp
日経平均	18,552.61	▲ 195.26		米国5年債	1.7676	▲6.3bp
TOPIX	1,479.54	▲ 15.56		米国10年債	2.2392	▲5.7bp
シカゴ日経先物	18,520	▲175.00		独10年債	0.1980	▲0.6bp
ロンドンFT	7,348.99	▲16.51		英10年債	1.0500	▲0.3bp
DAX	12,154.70	15.35		豪10年債	2.5030	▲2.7bp
ハンセン指数	24,313.50	225.04	為替市況	USD/CNH	6.8839	▲ 0.0167
上海総合	3,273.83	▲ 15.14		ドルインデックス	100.78	0.07
USDJPY 3M Vol	10.18	0.23%	商品市況	CRB指数	187.382	▲0.61
USDJPY 6M Vol	9.91	0.14%		NY金	1,278.10	3.90
EURJPY 3M Vol	13.30	0.22%		WTI	53.11	▲0.29
EURJPY 6M Vol	11.73	0.09%		Dubai Spot	55.03	0.74

東京	東京時間のドル円は109.57レベルでオープン。110.00の台を下回り、昨年11月以来の円高水準に達したことで、朝方は実需勢によるドル買いが意識され、東京時間高値109.75の高値をつけた。しかし、前日に続いて朝鮮半島とシリアを巡る地政学リスクが警戒され、安寄りした日経平均株価が前日比200円超下落して年初来安値を更新、米10年債利回りも2.28%台まで沈む中、公示仲値の発表を通過するとドル円は東京時間安値109.35まで下落した。但し、一段と下押しするには至らず、以降は110.50を中心としたレンジ推移となる。午後に入って、トランプ大統領と習国家主席が電話会談を行い、習国家主席が「朝鮮半島情勢は平和的な手法で解決すべき」と発言したことが伝わったものの市場への影響は限定的。結局、ドル円はレンジ推移を継続した後、109.58レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間中のドル円は109円台後半で横ばい。朝方は109.58レベルでオープンし、ロンドン時間高値109.76まで上昇する場面もあったものの、その後は小幅下落し109.65レベルでNYへ渡った。ポンドドルは朝方1.2488レベルでオープン、序盤に発表された英2月雇用関連経済指標の結果を受けてロンドン時間高値1.2520まで上昇。しかし、その後は前月に比べ賃金が伸び悩んでおり、失業申請件数が2011年以来的水準まで上昇したことなどが嫌気されて1.2481まで下落。引けにかけては小幅に値を戻し、1.2498レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフリ 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	海外市場のドル円は109.50を挟んでの方向感に欠く推移となり、109.65レベルでNYオープン。朝方発表された米3月輸入物価指数(前月比)は予想と一致し、市場への影響は限定的。その後ドル円はロンドン時間高値を上回る109.78を付けるが、軟調な米株を横目に上値の重い推移となり、109.43まで反落。午後に入り、ティラーソン米国務長官とプーチン露大統領の初会談を控えシリア紛争に対して米ロ連携の期待が高まる中、ドル円は日中高値となる109.86まで上昇。しかしアサド政権の化学兵器の使用を巡っては両国の意見が異なり、ティラーソンから「米ロの信頼は低水準だ」との発言もあったことから、ドル円は109.70付近まで値を戻した。その後、WSJ紙のインタビューにてトランプ大統領から「米国は中国を為替操作国に認定しない」、「ドルは強すぎる」、「FRBの低金利政策は望ましい」とのコメントが伝わると米長期金利が大幅下落。ドル円も連れ安となり東京時間安値の109.35を下抜け日中安値の108.96まで下落。年初来安値となるこの水準ではドル買い意欲もあり、109.10レベルまで値を戻してクローズした。一方ユーロドルは1.0602レベルでNYオープン。1.0590から1.0620付近でのレンジ推移が続いたが、上述のトランプ大統領のコメントを受けて米長期金利の大幅下落と共にドル売りが強まると、ユーロドルは1.0675まで急伸し、1.0665レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月12日	08:50	日 機械受注(前月比/前年比)	2月 1.5%/5.6%	3.6%/2.5%
	10:30	中 CPI(前年比)	3月 0.9%	1.0%
	10:30	中 PPI(前年比)	3月 7.6%	7.5%
	17:30	英 失業率	3月 2.2%	-
	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	2月 4.7%	4.7%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- 1.5%	-

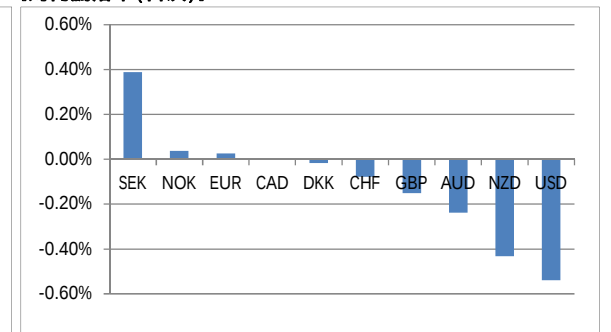
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月13日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	3月 20.0K/5.9%	-6.4K/5.9%
	-	中 貿易収支	3月 \$12.50B	-\$9.15B
	-	中 輸出/輸入(前年比)	3月 4.3%/15.5%	-1.3%/38.1%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%
	15:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.1%/1.5%	0.1%/1.5%
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	3月 0.0%/2.4%	0.3%/2.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 245K	234K
	22:45	米 ブルームバーグ消費者信頼感	-	502
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 96.5	96.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.10-109.40	1.0620-1.0720	115.00-117.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は下落。米トランプ大統領の金融政策に関連した発言を切っ掛けに米金利が低下する中でドル円相場は連れ安となり、一時109円割れを示現。本日も引き続き軟調推移を予想する。米トランプ大統領発言については予想外の発言であり市場にとってサプライズとなったわけであるが、中央銀行の独立性を鑑みれば実効性に乏しく、今後の影響は限定的となる。一方で、シリア・北朝鮮に関連する地政学リスクは引き続き警戒され、ヘッドライン等により緊張感が高まる場面では金利低下並びにドル円相場下落での反応が予想される。事態解決には時間がかかる印象であり、ドル円相場の上値重い展開が当面継続する事を予想する。